

運営の方針

(1) 高知県立図書館の目的と運営方針・事業方針・事業目標

1. 高知県立図書館の目的

- ① 高知県民の生活に役立ち、心をより豊かにすること
- ② 高知県内の図書館・図書室等を活性化すること

2. 高知県立図書館の顧客

- ① 高知県民
- ② 高知県内の図書館・図書館職員
- ③ 高知県庁・出先機関の県職員
- ④ 県内市町村職員
- ⑤ 高知県立図書館しか所蔵していない資料の利用を求める個人または団体

3. 運営方針

- ① 従来型の県立図書館像にとらわれず、今の高知県に必要とされるサービスを積極的に提供する
- ② 新たなサービスに対応できるよう研修体制を整える
- ③ 限られた資源で目的を達成するために、事業や収集資料などで「選択と集中」を進める
- ④ 事務の効率化を図る
- ⑤ 県民にとって図書館が身近なものになるように、効果的なPR戦略を確立して実行する

4. 事業方針

- ① 高知県の現在と将来を担う人づくり、人育てを支援する事業を行なう
- ② 県民の今の暮らしを支え、地域を活性化する事業を行なう
- ③ 高知県内の図書館・図書室等を活性化するための支援事業を行なう

5. 事業の7本柱

これまでに蓄積された資料と職員の力を最大限に活用してレファレンス業務の充実を図り、高知県立図書館の目的の実現を目指す。以下に事業の7本柱を定めて目的実現の道筋とする。

① 県内読書環境の整備

- ア. 県内図書館資料の相互貸借を活発化させるため物流体制の整備に努める
- イ. 市町村立図書館への支援を見直し、より効率的で効果的な支援体制の整備に努める
- ウ. 県内の図書館員を支援し、情報交換を活発化する
- エ. 子どもの読書活動推進にかかわる人材育成を推進する
- オ. 学校図書館を支援する

② 地域活性化支援

- ア. 地場産業や商工業・観光業を支援できるような資料・情報を提供する
- イ. ボランティア団体やNPO活動を支援できるような資料・情報を提供する
- ウ. 地域活性化に取り組む人材を育成するための資料・情報を提供する
- エ. 事業所経営者や従業員の仕事上の問題解決を支援できるような資料・情報を提供する

- オ. 事業所経営のヒントになるような資料・情報を提供する
- カ. 地域活性化に取り組んでいる県・市町村職員に役立つ資料・情報を提供する
- キ. 関係諸機関と密接に連携して事業を展開する

③ 政策立案支援

- ア. 政策立案を支援できるような資料・情報を提供する
- イ. 効果的な資料・情報提供ができるよう県政情報室や議会図書室と密接に連携する
- ウ. 県庁職員の仕事上の問題解決を支援できるような資料・情報を提供する
- エ. 市町村立図書館を通じて市町村職員の政策立案も支援する
- オ. 職員能力研修センターなど関係諸機関と密接に連携して事業を展開する

④ 起業・創業支援

- ア. 起業・創業を支援できるような資料・情報を提供する
- イ. 新産業創出を支援できるような資料・情報を提供する
- ウ. 知的財産の創出・保護を支援できるような資料・情報を提供する
- エ. 起業・創業促進に取り組んでいる県・市町村職員に役立つ資料・情報を提供する
- オ. 関係諸機関と密接に連携して事業を展開する

⑤ 若者就業支援

- ア. 小中高校生、大学生に就業・職業に関する資料・情報を提供する
- イ. 高等学校の就職担当の教職員、大学就職部を支援できるような資料・情報を提供する
- ウ. 学校・大学が実施する職業体験事業を支援できる資料・情報を提供する
- エ. ハローワークなど関係諸機関と密接に連携して事業を展開する
- オ. 若者就業促進に取り組んでいる県・市町村職員に役立つ資料・情報を提供する
- カ. 他の生涯学習施設とも密接に連携して事業を展開する

⑥ 健康生活支援

- ア. 予防医学や健康維持に関する資料・情報を提供する
- イ. 闘病している患者やその家族を支援できる資料・情報を提供する
- ウ. 公立図書館による効果的な健康・医療情報提供の方法を研究する
- エ. 本事業に係るボランティアなどの人材育成を支援する
- オ. 病院・福祉施設などと関係諸機関と密接に連携して事業を展開する

⑦ 郷土・行政資料の整備・充実と利用促進

- ア. 貸出可能な郷土・行政資料を増やす
- イ. 所蔵している郷土・行政資料のデータを整備して利用の促進を図る
- ウ. 郷土・行政資料を活用した展示等を実施して利用の促進を図る
- エ. 郷土・行政資料収集のために県庁や県内市町村からの寄贈ルートを確立する
- オ. 関連諸機関や団体と連携して事業を展開する

6. 事業目標 次頁のとおり

| 事業目標とチャレンジプラン | | | | | | | |
|---|--------------------------------------|-------|---------------|------|------------|------|------|
| ① 県内読書環境の整備 | | | | | | | |
| 事業目標 | | 年次・年度 | | | | | |
| | | 0年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 |
| a. 当事業に係る基盤（インフラ）整備・環境醸成 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
| 1 | 物流システムを整備する | 実施 | 実施 | | 効果検証 | | |
| 県内市町村立図書館向けは完備と言っていい状態になっている。今年9月から四国の他3県立図書館との定期便を開設したので、その安定運用を図りたい。 | | | | | | | |
| 2 | 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する | | メルマガの発行とMLの開設 | | | 効果検証 | |
| 20年度は市町村立図書館に対する情報提供のため、高知県の図書館振興策をメルマガ1号として3月に県立図書館より市町村立図書館へ発行する予定である。 | | | | | | | |
| 3 | 県内図書館職員の研修を進める | 実施 | | | 効果検証 | | |
| 今年度2回目は鳥取県立図書館を視察研修した職員の研修報告や「闘病記・看護の記録」の作成担当者の作成意図の発表など、県内図書館での情報共有に努めた。 | | | | | | | |
| 4 | 事業の目的達成に必要な啓発活動を実施する | 実施 | | | 効果検証 | | |
| マスコミを活用したリクエスト制度のPRはできなかったが、来館者には積極的に案内をするようにした。 | | | | | | | |
| 5 | 県内図書館への協力レファレンス体制を整備する | 対応 | | | | 効果検証 | |
| 体制整備には着手できなかったが、20年度は51件対応した。 | | | | | | | |
| 6 | 県内図書館利用者のリクエストとそれに伴う相互貸借を活発化させる | 実施 | 実施 | | 効果検証 | | |
| マスコミを活用したリクエスト制度のPRはできなかったが、来館者には積極的に案内をするようにした。 | | | | | | | |
| b. 当事業の目的達成する方法 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
| 1 | 移動図書館を巡回させる。 | 実施 | 実施 | | 効果検証 | | |
| 運転手が定年退職するが、アウトソーシングして巡回を継続する。 | | | | | | | |
| 2 | 県内図書館に対し、物流システムを活用して読書環境整備に係る事業を実施する | 実施 | 実施 | | 効果検証 | | |
| 21年度以降も、企画展示を本と内容紹介文をセットにして市町村立図書館に団体貸出をするなど、来館者へのサービスの成果を市町村支援に生かしていく。 | | | | | | | |
| 3 | 「対面音訳」とともにその他の障がい者サービスにも取り組む | | 実施 | | | 効果検証 | |
| 移動図書館バスの広告料収入を経費に充当して実施している「宅配貸出サービス」は登録者数12人、貸出回数59回、貸出冊数248冊を記録している。「24時間テレビ」から贈呈された「よむべえ」の利用は、13回である。（ともに1月末現在） | | | | | | | |
| 4 | 重点的に支援する市町村を設定し、物的・人的支援を傾斜配分する | 実施 | いの・安芸 中間評価 | | 室戸 中間評価 | | |
| 安芸市、いの町に加え、室戸市を重点支援図書館として支援を実施。 | | | | | | | |
| 5 | 学校図書館（室）を支援する | 調査研究 | 実施 | | 効果検証 | | |
| 佐川町、安芸市、仁淀川町、田野、香美市の小学校の支援を実施した。引き続き支援・連携の枠組みの研究・形成に努力。 | | | | | | | |
| c. 当事業遂行のための環境醸成 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
| 1 | 資料展示、その他の関連事業を実施する | 実施 | | | 効果検証 | | |
| 21年度以降も、館内の資料展示と団体貸出をリンクさせた志町村支援を実施していく。 | | | | | | | |
| 2 | 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める | | 実施 | | | 効果検証 | |
| 広島市で開催された「平成20年度中国・四国地区図書館地区別研修」に職員を派遣した。 | | | | | | | |
| 3 | 関連機関との連携 | 実施 | | | 効果検証 | | |
| <p>県内市町村立図書館との資料物流システムはほぼ完備され、順調に運用されている。9月より四国内の他3県立図書館と相互貸借の定期便を試行で開設した。今年度はこれの安定運用を目指す。子ども室の県内講師派遣が増加しており、カウンター要員の確保が厳しくなるほどである。障がい者サービスについては今までの「対面音訳」に加え「宅配貸出サービス」を加えサービスの幅を広げたところ、利用が伸びてきた。日本テレビ「24時間テレビ」に寄せられた寄付金による障がい者サービス向け機器「よむべえ」もよく利用されている。音声パソコンの利用回数が3回と少ないが、来年度はDailyに作成して利用者へ提供していく。</p> | | | | | | | |

| ② 地域活性化支援 | | | | | | | | |
|---|--|-------|---------|------|------|------|------|---|
| 事業目標 | | 年次・年度 | | | | | | |
| | | 0年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 備考 |
| a - 1. 当事業の目的を達成する方法 (商工・観光業・地場産業支援) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | |
| 1 | 商工・観光業・地場産業等に携わっている人の資料・情報ニーズを調査する | | 取り組み開始 | | | | | 常に世の中の動きをウォッチして半歩先を読んでおくことで、役に立つ資料・情報収集に役立てる。 |
| 2 | 商工・観光業・地場産業等に携わっている人の必要とする資料・情報を収集し提供する | 未実施 | 弱い面を強化 | → | 効果検証 | | | 特に、まちづくりとグリーンツーリズム等地域特性に応じたものに目を配る。 |
| 3 | 上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう | 実施 | | → | 効果検証 | | | 特に、まちづくりとグリーンツーリズム等地域特性に応じたものに目を配る。 |
| 4 | 商工・観光業・地場産業等に携わっている人の仕事を参考にするセミナー・講演会を開催する | 実施 | | → | 効果検証 | | | 特に、まちづくりとグリーンツーリズム等地域特性に応じたものに目を配る。 |
| a - 2. 当事業の目的を達成する方法 (人づくり) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 |
| 1 | 人づくりに関する事業を企画・立案し、実施する | 未実施 | 企画立案・実施 | | | | | 8月に中高生を対象とした「1日図書館体験」を開催したが、これを発展させた「仕事体験塾」を関係機関・企業等との連携により3月に実施予定である。高校生などに商工・観光業、地場産業に目を向けるように促すとともに、現場も見てもらって高知県の将来を支える人材の育成につなげる。 |
| 2 | 人づくりに必要な資料・情報・その提供方法を検討し、実施する | 未実施 | 企画立案・実施 | | | | | 「仕事体験塾」の参加者・関係者にアンケートして資料・情報ニーズと提供方法についてのヒントを得る。 |
| a - 3. 当事業の目的を達成する方法 (当事業に関連するPR) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 |
| 1 | 県内の商業施設や観光スポットを紹介したパンフレットを収集し館内で配布する | 実施 | 実施 | 効果検証 | | | | 鳥取県立図書館とコラボレーションし、相互観光PRを実施した。津山市立図書館(岡山県)とも2月に実施した。マスコミにも取り上げられ、来館者にも興味を持ってもらえた。 |
| 2 | 地場産品のPRパンフレットを収集し館内で配布する | 実施 | 実施 | 効果検証 | | | | |
| b. 当事業遂行のための環境醸成 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 |
| 1 | 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する | 実施 | | | | | | 効果検証 |
| 2 | 資料展示、その他の関連事業を実施する | 実施 | 実施 | → | 効果検証 | | | 鳥取県立図書館や津山市立図書館(岡山県)との相互観光PRを実施した。 |
| 3 | 関連機関の支援 | 実施 | 実施 | → | 効果検証 | | | 引き続き(財)高知県観光コンベンション協会を応援していく |
| 4 | 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める | 実施 | | 実施 | | | | 19年度「ビジネスライブラリアン講習会」に職員を派遣し学ばせた。残念ながら今年度は予算の都合で派遣できないが、来年度は再び派遣したい。 |
| 5 | 関連機関との連携 | 実施 | | | | → | 効果検証 | 21年4月から展示の広場を活用してNHK大河ドラマ「龍馬伝」関連の企画展示等を展開する。小展示室は、龍馬・弥太郎ゆかりの地の図書館(県外)と相互観光PRを行なうスペースとして活用する。 |
| <p>総評 県立図書館のマンパワーに限られている中では商工・観光業・地場産業の中で優先順位をつけて取り組む必要が出てきているが、21・22年度は来年1月のNHK大河ドラマ「龍馬伝」放送開始をにらみ、観光振興のための取り組みを積極的に展開していく。</p> | | | | | | | | |

| ③ 政策立案支援 | | | | | | | | | |
|--|----|-------|------|------|------|------|------|---|--|
| 事業目標 | | 年次・年度 | | | | | | | |
| | | 0年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 備考 | |
| a. 当事業の目的を達成する方法 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | | |
| 1 世の中の動きを常にウォッチしておく | 実施 | | | | | | | 経済危機について新聞のクリッピングを行い、毎日掲示し保存した。 21年度以降も、世界・日本・高知の出来事をフォローし、随時、企画展示などで情報提供していく。 | |
| 2 半歩先を読んだ資料収集を心がける | | 実施 | | | | | 効果検証 | | |
| 3 半歩先読みのブックリスト作成で役立つ資料を提供していく | | 実施 | | | | | 効果検証 | | |
| b. 当事業遂行のための環境醸成 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 | |
| 1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する | | | 実施 | | | | | 効果検証 | 日経テレコン・法情報総合データベース・官報情報検索サービスが整備され、あとは使い方を講習会で周知するだけである。ちなみに日経テレコン21講習会の開催回数と参加人数は今まで2回2人。日経テレコン21も含めたデータベース講習会は2回7人。(1月末現在) |
| 2 資料展示、その他の関連事業を実施する | 実施 | | | | | | | 効果検証 | 「裁判員制度導入開始」「経済」「雇用」など、地方自治にとっても重要なテーマについてウォッチし、タイミングよく企画展示していきたい。 |
| 3 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める | | | 随時実施 | | | | | | 予算措置がなくても可能なものは随時始める。 |
| <p>総評 地方自治にも影響する時事的なテーマで企画展示をしたり資料収集の面で工夫をして県・市町村職員の図書館利用を促進し、図書館資料を仕事に役立ててもらうことで間接的に政策立案を支援していきたい。まちづくり、産業振興の資料をより、収集、提供していく。</p> | | | | | | | | | |
| ④ 起業・創業支援 | | | | | | | | | |
| 事業目標 | | 年次・年度 | | | | | | | |
| | | 0年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 備考 | |
| a - 1. 当事業の目的を達成する方法(起業・創業支援) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | | |
| 1 県内の起業・創業の動向を調査する | | | 調査研究 | | | | | 一次産業への就業のパンフレットを収集し、提供した。 | |
| 2 県内で起業・創業を考えている人の資料・情報ニーズを調査する | | | 調査研究 | | | | | | |
| 3 県内で起業・創業を考えている人の必要とする資料・情報を収集し提供する | | | 調査研究 | | | | | | |
| 4 上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう | | | 調査研究 | | | | | | |
| 5 県内で起業・創業を考えている人の参考となるセミナー・講演会を開催する | 実施 | | | | | | | 効果検証 | 20年11～12月には「創業支援セミナー」を実施した。質疑応答では、具体的な質問も出た。概ね好評であった。経済の悪化を受けて、今後は就業(一次産業も含む)にも目を配りたい。 |
| a - 2. 当事業の目的を達成する方法(経済・起業教育) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 | |
| 1 小中高校生を対象として経済教育等の講座を開催する | 実施 | | 実施予定 | | | | | 効果検証 | 3月に開催する「仕事体験塾」のメニューの中に経済の仕組みを学ぶ部分も含まれている。 |
| 2 県内大学生を対象とした講座を企画する | | | 調査研究 | 実施 | | | | 効果検証 | |
| b. 当事業遂行のための環境醸成 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 | |
| 1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する | | | | | | | | | 日経テレコン・法情報総合データベース・官報情報検索サービスが整備され、あとは使い方を講習会で周知するだけである。ちなみに日経テレコン21講習会の開催回数と参加人数は今まで2回2人。日経テレコン21も含めたデータベース講習会は2回7人。(1月末現在) |
| 2 資料展示、その他の関連事業を実施する | | | 実施 | | | | | 効果検証 | 「仕事体験塾」の会場に関係図書などを展示する |
| 3 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める | 実施 | | | 実施 | | | | 効果検証 | 20年度は予算の関係で「ビジネスライブラリアン講習会」に職員を派遣することはできなくなったが、21年度は派遣したい。 |
| 4 関連機関との連携 | | | 実施予定 | 実施 | | | | | 20年度は、先進図書館の事例研究のため鳥取県立図書館に職員を派遣し学ばせた。 |
| <p>総評 「創業支援セミナー」において県立図書館に対する資料・情報ニーズを調査し、結果「広告」や「宣伝」の資料のニーズが高いことが、わかったので、収集に反映していく。</p> | | | | | | | | | |

| ⑤ 若者就業支援 | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|-----------|------|------|------|------|--|
| 事業目標 | 年次・年度 | | | | | | |
| | 0年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 備考 |
| a. 当事業の目的を達成する方法 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | |
| 1 県内の若者就業の実態を調査する | 調査研究 | 実施 | | | 効果検証 | | マスコミ報道等を参考にしている |
| 2 支援対象者の資料・情報ニーズを調査する | 調査研究 | ジョブコーナー充実 | | | 効果検証 | | 「ジョブカフェこうち」と協働して、アンケート用紙を置かせてもらうなどして県立図書館への資料・情報ニーズを調査できないか検討する。 |
| 3 支援対象者の必要とする資料・情報を提供する | 一部実施 | 実施 | | | 効果検証 | | 「ジョブカフェこうち」発行の無料就職情報誌『明日』製作のためのアイデアを出して連携・応援した。県立図書館でも配布した。 |
| 4 上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを提供する | | 調査研究 | | | | | 1月に開催した「就活支援セミナー」でのアンケート調査の結果を活かしたい。 |
| 5 支援対象者の参考となるセミナー・講演会を開催する | 調査研究 | 未実施 | | | 効果検証 | | 1月には「就活支援セミナー」を開催した。「仕事体験塾」を関係機関・企業等との連携により3月に実施予定である。 |
| b. 当事業遂行のための環境醸成 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 |
| 1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する | 実施 | | | | 効果検証 | | 日経テレコン・法情報総合データベース・官報情報検索サービスが整備され、あとは使い方を講習会で周知するだけである。ちなみに日経テレコン21講習会の開催回数と参加人数は今まで2回2人。日経テレコン21も含めたデータベース講習会は2回7人。(1月末現在) |
| 2 資料展示、その他の関連事業を実施する | 実施 | 実施 | | | 効果検証 | | 「再チャレンジ学習支援協議会」や「ジョブカフェこうち」との連携で、内容紹介文を付した関連図書を小展示室などに展示して県民の皆様にご利用していただいた。 |
| 3 関連機関の支援、関連機関との連携 | | 実施 | | | | | 「ジョブカフェこうち」「再チャレンジ学習支援協議会」との連携や雇用労働政策課への支援が定着してきた。これからも継続させていきたい。 |
| 4 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める | 調査研究 | 調査研究 | 調査研究 | 調査研究 | 調査研究 | | 予算措置がなくても可能なものは随時始める |
| 総評 | パンフレット・無料の就職情報誌は、よく利用された。引き続き、貴重な情報源として提供していきたい。「ジョブカフェこうち」などとの連携を強化して、県立図書館への資料・情報ニーズのアンケート調査を実施する。 | | | | | | |

| ⑥ 健康生活支援 | | | | | | | |
|--|---------|------|------|------|------|------|---|
| 事業目標 | 年次・年度 | | | | | | |
| | 0年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 備考 |
| a. 当事業の目的を達成する方法 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | |
| 1 図書館による健康情報提供を目指す専門団体から情報収集しサービス内容を検討する | 実施 | | | 効果検証 | | | 高知医療センターの「なるほどライブラリー」からは、随時アドバイスをいただいている。 |
| 2 上記検討により支援対象と範囲を確定し情報ニーズを調査する | 実施 | | | | | | どんな人（団体）がどんな資料・情報ニーズを持っているかを検討してから、アンケート調査の計画を立てる予定だったが、現時点では立てられていない。 |
| 3 支援対象者の必要とする資料・情報を提供する | 実施 | | | | 効果検証 | | 関病記を利用する人が選びやすいよう、一定の着眼点から「選択指標」を付した『関病・看護の記録』が完成し、館内やHPで閲覧できるようにした。開架に所蔵している医学・薬学関係図書の点検を行なって、古いものは書庫入れし、必要な図書は購入等で蔵書の更新を図りたい。 |
| 4 上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう | 実施 | | | 効果検証 | | | |
| 5 支援対象者の参考となるセミナー・講演会を開催する | 調査研究 | 実施 | | | 効果検証 | | 20年度の後半に入ったが、まだ実現できていない。 |
| b. 当事業遂行のための環境醸成 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 |
| 1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する | リンク集作成済 | | | 効果検証 | | | 最新情報入手できるWebデータベースは導入できなかったが、図書館HPのリンク集作成である程度は対応している。どのくらい使われているか、効果検証が課題である。 |
| 2 資料展示、その他の関連事業を実施する | 実施 | | | 効果検証 | | | 引き続き実施。資料の企画展示はよく利用されている。 |
| 3 関連機関の支援 | 実施 | | | 効果検証 | | | |
| 4 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める | 実施 | | | 効果検証 | | | |
| 5 関連機関との連携 | 実施 | | | 効果検証 | | | |
| <p>総評 関病記を利用する人のための「選択指標」をつくり、それを付した『関病・看護の記録』が完成した。2階開架の医学・薬学関係図書の点検と更新、セミナー・講演会の開催が課題である。前者については、寄付・寄贈の募集も検討したい。</p> | | | | | | | |

| ⑦ 郷土・行政資料の整備・充実と利用促進 | | | | | | | |
|---|-------|------|------|------|------|------|---|
| 事業目標 | 年次・年度 | | | | | | 備考 |
| | 0年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | |
| a. 当事業の目的を達成する方法 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | |
| 1 郷土・行政資料の収集ルートの確立とそれに即した収集を実施する | 調査研究 | 実施 | | | 効果検証 | | 実施済み |
| 2 収集した郷土・行政資料の保存・提供方法を確立する | 調査研究 | 実施 | | | 効果検証 | | 収集した行政資料は、2階郷土資料コーナーに配架するという結論に至った。しかし、当コーナーの収容力に余裕がないため、古くて利用の少ない資料の書庫入れを検討している。 |
| 3 上記に即したデータ整備方法を確立する | 調査研究 | 調査研究 | 調査研究 | 調査研究 | 調査研究 | | |
| 4 他事業との関連付けによる郷土・行政資料のPRと利用促進のための事業を実施する | | 実施 | | 効果検証 | | | 『土佐国群書類従』販売促進のために当館職員が来年度4月に講演会を実施する予定である。また、平成22年放送開始のNHK大河ドラマ「龍馬伝」に関連した観光振興に貢献できるような取り組みを検討したい。 |
| b. 当事業遂行のための環境醸成 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 備考 |
| 1 事業の目的達成に必要なIT環境を整備する | 対応 | | | | | | |
| 2 資料展示、その他の関連事業を実施する | 実施 | | | 効果検証 | | | 継続してやっていく。 |
| 3 関連機関との連携事業の実施 | 実施 | | | 効果検証 | | | 今年度も引き続き「高知城友の会」やミュージアムネットワーク参加館と連携事業を実施している。来年度「龍馬伝」関連事業でミュージアムネットワークと連携を強化していく。 |
| 4 関連機関の支援 | 実施 | | | 効果検証 | | | ミュージアムネットワーク参加館の支援。 |
| 5 事業の遂行に必要な図書館職員の研修を進める | 実施 | | | 効果検証 | | | |
| 6 関連機関との連携 | 実施 | | | 効果検証 | | | ミュージアムネットワーク参加館との連携を継続する。 |
| 行政資料をどこにどのように置けば、活発に利用していただけるかの検討が終わり、郷土資料コーナーに置くことが決まった。当コーナーにどのように配架するか、PR方法はどうか、図書館側からの活用方法の提案などの課題があり、順次それらを解決していく必要がある。NHK大河ドラマ「龍馬伝」と連携した観光振興に県立図書館の郷土資料を生かした取り組みを4月から開始するために担当者が準備を進めている。 | | | | | | | |